

平塚西ロータリークラブ 週報

会長 齋藤 宙也
幹事 柳川 克美
エレクト 小網 嘉則
週報担当 近藤 直樹

創立 1976年6月23日
例会日 月3回水曜日 12:30より
例会場 カルチャーボンス平塚
平塚市平塚 5-32-12
TEL 0463-34-9911

事務局
〒254-0045 平塚市見附町 32-7
TEL 0463-33-1475
FAX 0463-33-8676
E-Mail : office@hiratsuka-w-rc.jp

第2179回 2023年6月21日(水) ☁

出席報告	総会員数	計算対象数	出席会員数	今回出席率	メイクアップ	修正出席率
	28名	24名	18名	72.00%	0名	5/31 68.00 %

◆ 会長挨拶 ◆

ついに、会長の時間も最後となりました。

1年間、ようやく終わりが見えてきました。声の回復ができず、この朗読すら息切れしながらでしたが、原稿自体は作るのが苦ではありませんでした。私は、裏アカではないのですがブログを細々としていて、誰も読者がいないのですが、そこでかなり言いたいことは書いています。ただ、読者が余りにいなくてもんもんとしていたので、多少なりとも読者といますか聴衆がいるこの場は、張り合いがあります。そのため、ブログを書くような感覚で、会長の時間の原稿も作っていました。

最後の回は、少し重いですが、作家の雨宮処凛(あまみやかりん)氏の主張について考えてみたいと思います。今は、貧困問題の政治活動家でもあるようですが、優生思想について一家言ある人です。以下では、彼女の主張を織り交ぜながら論じます。

優生思想の極限は、この神奈川県で発生した津久井やまゆり園の事件でした。これを受け、神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ憲章」なるものが策定されています。

植松死刑囚のやり方は、余りに常軌を逸しており、他人事だと感じる人が多いでしょう。しかし、生産性の有無を露骨に発言して差別しようとする政治家もいますし、一般人であっても、病気や障害で働けない人を社会のお荷物と捉える傾向は、年々強まっているように感じます。これは、植松死刑囚の主張を極小化しただけであって、本質的には彼の主張と同じものが含まれています。

しかし、それが当たり前になって良いのでしょうか。ちょっとでも働けなくなったり、自分が利益を生み出せなくなったら、税金の無駄だからすぐに死

んでもらいたいと周りから思われる社会になって良いのでしょうか。

ロータリアンの中には、ずっと何らかの意味で勝ち続けてきた、少なくとも脱落しなかった人も多いでしょう。しかし、そういう人でさえ、友達や家族の中には、必ず勝ち続けられなくなる人がいると思います。御本人が順調でも、お子さんがメンタルを病んでまともに働けなくなっているという人は、決して少なくはありません。そうなったからお子さんが「死んでくれ」と求められる社会は、望ましい社会でしょうか。

また、そのような社会であれば、自分が社会の役に立たないと判断されたら、廃棄されてしまいます。自分がいずれ社会の役に立たなくなる、働けなくなる、そういうことへの想像力がない人間が、したり顔で自己責任論を説いているように、思えてなりません。

交通事故はもちろん、最近では、拡大自殺に巻き込まれて、一命は取り留めたものの就労不能に陥ることもあるでしょう。真面目に働いている人ほど、メンタルを病んで働けなくなることが多いのが実情です。もちろん、純粋に高齢でリタイアするケースも、広く考えれば含まれるでしょう。そうなったときに、もう用済みだからといって突然切り捨てられる社会は、暗黒のバトル・ロワイヤルと言ってよい代物であろうと思います。

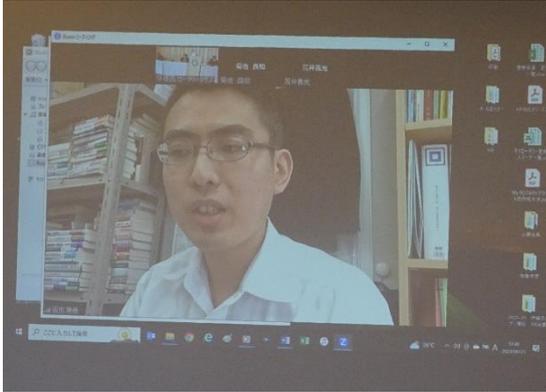
私も、このような体調になって半分脱落のような状態になり、ますます、助け合う社会の必要性を実感しています。

ロータリークラブの社会奉仕活動は、このような自己責任切り捨て社会からの脱却を支援するものです。生産性の議論からは少しずれますが、子ども食堂も、先日のパネルディスカッションでも話があったように、地域住民同士で支え合うコミュニティの復活という側面があります。これを支援すること

は、単なる子供の貧困対策を超えた社会への働き掛けと言ってよいでしょう。

本日は、年度終了に当たって、もう少し私の方でお話しします。話し続けるのは大変な面もありますが、最後の仕事だと思って頑張ります。

◆ 年度終了にあたり ◆



体調が優れない中での会長職、ご苦勞様でした

◆ 受理 ◆

- * ガバナー月信
- * 地区内姉妹・友好クラブ一覧表
- * 麻薬・覚せい剤乱用防止センターより普及運動キャンペーン案内

◆ 幹事報告 ◆

● 第2780地区より ●

* 次年度 地区ロータリー財団セミナー及び補助金管理セミナーのお知らせ

日 時：7月15日(土)

R 財団セミナー 13:00 ~ 15:10

補助金管理セミナー 15:30 ~ 16:30

対象者：次年度クラブ会長

次年度クラブ R 財団委員長

申込み：7月7日までに清田まで

* 2024年夏出発、青少年交換留学生募集について要項が届きました

* 「第8回日台ロータリー親善会議台北大会」の案内が届きました

* 6月「ロータリー親睦活動月間」のリソースが届きました

● 米山奨学会より ●

* ハイライト米山 279号

● 平塚市より ●

* 平塚市少年野球大会のお知らせ

日 時：7月21日(金) 18:00~

会 場：バッティングパレス相石スタジアム
ひらつか

申込み：7月7日までに清田まで

● クラブより ●

* 次年度の活動計画書が出来上がりました

◆ 結婚祝・誕生祝 ◆



◆ スマイル ◆

◆ 平野会員 ◆

本日の例会は私にとって最後の例会となりました。会員の皆様には大変お世話になりましたが44年目の最終例会です。大変楽しかったと共に当時の例会場で、最後の例会が出来たことはラッキーな事でした。ありがとうございました。



◆ 片倉会員 ◆

結婚祝・誕生祝ありがとうございました。

◆ 成田会員 ◆

片倉さん、誕生祝・結婚祝おめでとうございます。本日は齋藤年度最終例会という事でご苦勞様でした。次年度小網さんよろしくお祈りします。

◆ 近藤(直)会員 ◆

片倉さん、誕生祝・結婚祝おめでとうございます。齋藤年度もいよいよ最後の例会となりました。役員の皆様、伊藤ガバナー補佐、一年間本当にお疲れさまでした。次年度小網さん、寺島さん宜しくお願いします。

◆ 小玉会員・久保田会員・関口会員・瀬尾会員・小泉会員・伊藤会員・小網会員・柳川(克)会員・石井義剛会員 ◆

平野さん、本日が最後の例会との事、本当に寂しくなります。名誉会員としていつでも遊びに来てください。お待ちしております。

片倉さん、おめでとうございます。

理事役員の皆様一年間お疲れさまでした。

◆ 本日の食事 ◆



◆ 次回例会 ◆

6月21日(水)

納会(竹まんにて)